

# 勝利を確認し、3月決戦闘争を集約

日刊  
**動労千葉**

81.3.7  
No.684

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五ノ六(金巻)四五三二(七)七

きりひらかれた偉大な地平をふみ固め  
確信固く更に前進しよう!

ジェット燃料貨車輸送延長阻止、スト破り助役機関士導入粉碎、を掲げた三月ジェット闘争は、政府・国鉄当局を震撼させ、一三〇〇名組合員の底力を遺憾なく発揮しつつ、断固として貫徹しつつある。

三月ジェット闘争は、オ一に、労農連帯の大義を堅持・発展させる闘いであり、オ二に、日本労働運動なかんづく国鉄労働運動の戦局的再生を希求する闘いであり、オ三に、動労「本部」革マル反動分子と結託した国鉄当局「秋山労政を打倒する闘い」であった。

ゆいゆいは、この二年間の屈辱と忍耐の鎖をときはなち、満を持して、2.19助役機関士線見阻止闘争以降三週間にわたる決戦闘争に決起し、動労千葉破壊の邪悪な野望をことごとく粉碎し、3号総武線を中心とする全線ストツプの偉大なストライキを実現し、所期の目標を獲得しつつあることを確認できる。

ゆいゆいは、労働者が怒りをもちて立ち上ったとき、いかなる力を発揮するのかを反動どもにいやあうなく見せつけてやった。

ゆいゆいは、労働者が正義の闘いに立ち上ったとき、裏切り者集団のみにくい姿が大衆の前にあますところなくさらけ出され、あわせて本物の労働者の連帯が獲得できることを学んだ。

ともあれ、一三〇〇名組合員が一致団結し、不眠不休で闘いぬいた三月ジェット闘争は、日本労働運動史上、新たな一頁を書き加えた。それ故、密集せる反動は、塩川運輸相談話に示されるように熾烈さをもってゆいゆいに襲いかかるであろう。

しかし、この団結とこの戦闘力がある限り、動労千葉はピクともしない。国鉄当局よ、やるならやってみろ。ゆいゆいは、したたかな反撃にうって出る決意を明らかにしておく。

本部闘争委員会は、歴史的三月ジェット闘争が獲得した偉大な成果を確認し、あゆませて、オ二、オ三の三月ジェット闘争に決起する決意を胸に秘めつつ、今次闘争の集約を決定した。

従って、本部闘争委員会は、三月ジェット闘争を実現した全組合員、家族の奮闘に心から敬意を表しつつ、次のとおり指令する。

## 闘争指令 オ一四号 (一九八一・三・六)

- 一、各支部は、三月六日24時をもって、ストライキを含む一切の諸闘争を集約すること。
- 二、各支部は、三月六日17時をもって、全地上勤務者を対象とする減産闘争(B行動)を集約すること。
- 三、各支部は、三月七日以降の列車の立ち上りについて、従来のパターンにふまえ遺憾のないよう対処すること。尚、時向外及び休日労働に際する協定は三月六日付をもって締結する。
- 四、各支部は、すみやかに取集會などを開催し、三月ジェット闘争の意義を確認し、あゆませて予期される不当処分粉碎に向けた闘争体制を確立すること。